

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
1	市民にわかりやすい総合計画とするためには、個別計画についても言及すべきである。ぜひ行財政集中改革プランについても言及してほしい。	総合計画	0	0	0	共通	1		個別計画を資料編に別表として掲載。
2	市民満足度調査の実施にあたっては、5つのプロジェクトの指標になるような調査を実施してほしい。また、指標については、もっと多くの項目を挙げ、内容を工夫するなど大幅な見直しが必要だ。	総合計画	0	0	0	共通	1		重点プロジェクトの指標を再検討。
3	市民にわかりやすい総合計画にするには、文章が平易であること、具体的であることが大事だ。また、他市との比較やこれまで酒田市として率先してやってきたことを示すとよりわかりやすい。	総合計画	0	0	0	共通	1		ダイジェスト版の作成や重点プロジェクトの本文で整理。
4	8ページの基本理念に「恵」とあるが、酒田の恵を考えたとき、地域資源や産業だけでなく、自然や環境、景観についても加えた方が良い。	総合計画	0	0	0	共通	1		自然環境の関係を追加。
5	10年計画は、5年毎に見直すところがあるが、意見箱を設置するなどして市民の声を聴取し、2年毎に見直してはどうか。	総合計画	0	0	0	共通	2	2	
6	計画の策定で終わるのではなく、策定の後に計画をさらに深めるような具体的な検討がなされるよう期待している。	総合計画	0	0	0	共通	2	1	
7	これまでの総合計画は計画の進捗を検証する仕組みに甘さがあったため、計画どおりに進まないことがあった。本計画から達成度や進捗状況を毎年度確認し、また各年度の取り組みと検証結果を踏まえて5年後を目途に見直しされることが明示され、その都度市民に公表されるということはよいことである。	総合計画	0	0	0	共通	2	1	
8	施策の大綱に示された事務事業と毎年の予算とをはっきりと結びつけた方が良い。	総合計画	0	0	0	共通	2	2	
9	68ページに「達成度を毎年確認する」とあるが、総合計画では、財政課で行っている事業評価とは違って、もっと市民にわかりやすいものにする必要がある。	総合計画	0	0	0	共通	2	4	表現はそのままとするが、具体的方法を検討。

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
10	財政面では、夕張市のこともあって市民は不安に感じている。酒田市が現在全国的にどの位置にあって、行財政集中改革プランの実施によって5年後にどうなるのか、もっと明るい見通しを打ち出せないものか。	財政運営	8	1	2	行財政	2	2	
11	第4章では、主としてごみ問題を取り上げ、「環境」としているののでわかりにくい。	総合計画	0	0	0	総務	1		[]（分野）の部分は削除。
12	重点プロジェクトの指標については、行政が持っているデータだけでなく、市内事業所のデータなども活用したらどうか。また、市民満足度調査の数値目標利用も検討してほしい。	市民参加	8	2	1	行財政	2	2	
13	52ページ「市民活動支援体制の充実」の具体的事務事業の概要については、重点プロジェクトの性質から見て、もっと詳しく掲載した方が良い。	市民活動	3	2	1	総務	1		具体的が分かるように補強。
14	68ページで、達成状況を毎年度確認し公表するとあり、とても良い。さらに、総合計画が毎年の予算にどのように反映されていくのかを加えると、市民は安心すると思う。また、個別計画についても言及するとより整合性が取れてわかりやすいと思う。	総合計画	0	0	0	共通	1		個別計画については、資料編に別表として掲載。
15	都市という機能性や利便性の意味で、仙台や東京といった大都市を連想する。国際的に見てもインフラ整備は必ずしも都市の特徴ではないので、第5章は「都市」ではなく、むしろ「環境」や「景観」とすべきではないか。	総合計画	0	0	0	共通	1		都市は、生活基盤を表現したもの。[]（分野）の部分は削除。
16	合併後の広域行政体制において、ネットワークを中心とした住民サービスの向上と行政の事務効率アップ・簡素化といった情報化の推進は非常に重要である。	行政改革	8	1	1	行財政	2	1	
17	三位一体改革と絡めた市民と行政との共存、公的扶助のあり方ということが極めて重要である。除雪を例に見ても、これまで共存の発想で頑張ってきた農村部と行政任せな市街地では大きな違いがある。	市民参加	8	2	1	行財政	2	2	
18	民間活力をどう引き出していくかは、行政の手腕にかかっている。	市民参加	8	2	1	総務	2	2	

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
19	協働のまちづくりには、市民と行政とが一緒になった取り組みが重要であり、市民の盛り上がりが必要な要素だ。	市民参加	8	2	1	総務	2	2	
20	結婚していない方が周りにも多くいる。未婚者対策を立ててほしい。	市民活動	3	2	1	総務	2	1	
21	災害に備え、迂回路をどのように確保するのか再度点検する必要がある。	消防、救急、救助	4	1	1	総務	2	1	
22	第3章では地域力の高いまちとしてコミュニティ組織の重要性を謳っているが、その他の章でも学区単位もしくは小学校単位で団体を組織をつくるなど、地域力強化のための施策が展開されている。もっとまとめた標記ができないものか。また、相互の連絡関係支え合いという観点からすると、決して地域力が高まってはいないと思う。	地域コミュニティ	3	1	1	総務	2	2	
23	51ページに、コミュニティ拠点施設を「計画的に整備」とあるが「計画的に建設」としてほしい。また、東禅寺地区は人口規模が大きく、一つ組織として活動できる状況にない。	地域コミュニティ	3	1	1	総務	2	2	
24	平成21年度にコミュニティになった場合、旧3町地区では人口規模が小さく、そのために1戸当たり相当の額を負担しなければコミュニティを維持することが難しいのではないかと心配だ。	地域コミュニティ	3	1	1	総務	2	2	
25	地区公民館組織とコミュニティ組織を一本化して、将来的には民間のボランティアで運営することは、事務体系の整理が具体化していない状況にあっては難しいと思う。また、合併直後ということもあり、激変は避けるべきだ。	地域コミュニティ	3	1	1	総務	2	2	
26	デジタル放送への切り替えについて、対応の方向性を示してほしい。	中山間地振興	3	1	2	総務	2	1	
27	災害弱者の保護は、安心のまちづくりには欠かせない大事な部分であるにも関わらず、プライバシー保護の関係で、災害弱者の特定ができず、助け合おうとしても情報が無い。	防災対策	4	1	2	総務	1		本文及び事務事業を修正。

*1 対応CD 1:修正する 2:修正しない

*2 理由CD 1:計画に抱合されている 2:個別要望として受け止める 3:実現困難であり記載できない 4:その他

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
28	災害時に助けられた人の85%は15分以内で、うち95%は隣近所の人の助けによるものである。このことから、3km以上先の名簿は必要ないことがわかる。自治会の中の誰かがきちんとした名簿を持っていて、すぐに指示できるような自主防災組織が良いと思う。	防災対策	4	1	2	総務	2	2	
29	昨年、災害弱者である高齢者の保護について論議の場が持たれたが、マニュアルの作成が遅れているのではないかと心配している。災害は必ず来るという前提で、一人でも多くの人命を守る体制作りを早急に整備してもらいたい。また、自主防災組織率の向上対策と平行して訓練も実施していく必要がある。	防災対策	4	1	2	総務	1		災害弱者（要援護者）対策を事務事業に追加。
30	災害時の被害を最小限に抑えるためには、自助・共助が大切だ。自主防災組織と自治会連合会とが協力してやっていきたい。	防災対策	4	1	2	総務	2	2	
31	酒田市は県内でも高水準の介護保険料を徴収しており、このまま高負担な保険体質が続くのではないかと心配している。このことについて「現状と課題」では詳しく取り上げていたが、「第一次原案」では業者任せの感があり、表現が弱い。市の財政負担、市民の自己負担について10年先の方向を見定めていく必要がある。	高齢者福祉	2	2	2	民生	1		施策の文章に追加。
32	高齢化に伴って、お年よりの一人暮らしや老人世帯が増えていることから、まちづくりの原点である日常的な目配せや、支え合いの組織づくりが大切であることも総合計画に盛り込んでほしい。	地域福祉	2	2	1	民生	1		施策の文章に追加。
33	後期高齢者医療制度について、心配している人が多いので積極的にPRに取り組んでほしい。	国民健康保険	2	1	3	民生	2	2	
34	火葬場が混んでいて待たされる、墓地公園の供物に誘われて熊が下りてくるといった話を聞いた。斎場、霊園施設の管理徹底を図ってほしい。	斎場、霊園	4	2	3	民生	2	1	
35	子育て支援の内容は非常に充実している。ぜひ実現してほしい。	子育て支援	2	2	4	民生	2	2	

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
36	今一番早急に取り組まなければならないのは、家庭ごみの問題だ。ごみの有料化という意見もあるが、ごみは出せば終わりではなく、処理しなければならないという一人ひとりの環境に対する心がけこそが大切であり、そのことを伝えていかなければならない。	廃棄物対策	4	2	2	民生	2	1	
37	ペットボトルのフタなど、昨年まで埋め立てごみとして処理していたものが可燃物となったことで、最終処分場の耐用年数が延期されて喜んでいる。自治会でも生ごみの水切りなど、ごみの減量と呼びかけているが、他方、野焼きの禁止によってごみの量が増えてしまったというケースもある。	廃棄物対策	4	2	2	民生	2	2	
38	発泡スチロールなどのごみが可燃ごみとなり、ごみの量が増えたという面もある。トレーについては、スーパーなどで回収しているため、リサイクルの習慣が定着してきているようだ。	廃棄物対策	4	2	2	民生	2	2	
39	ごみの分別とリサイクルの方向にあって、ごみの減量にはまだまだ可能性がある。全体的なごみ減量対策を立ててほしい。	廃棄物対策	4	2	2	民生	2	1	
40	検診率や受診、再検診の施策がよくなってきているようだが、働き盛りで死亡する方が身の回りで多くなっている。具合が悪くても医者にかからない方にどう受診を促すか喫緊の課題と感じている。	健康づくり	2	1	1	民生	2	1	
41	検診時の問診表の書式は、高齢者にも書きやすいように、大きな文字で、行政用語を省いたわかりやすいものにしてほしい。	健康づくり	2	1	1	民生	2	2	
42	県立日本海病院と市立酒田病院の統合再編に際しては、総合計画に記載のあるように「地域完結型医療体制の構築」「高度医療機能の強化」「保健・医療・福祉（介護）の連携強化」に向かってほしい。	地域医療	2	1	2	民生	2	2	
43	袖浦、浜中、西荒瀬の砂丘地の園芸についての言及が不足している。また、畑の休遊地利用についても転作田に比べて不足している。	農業振興	6	1	1	産業	1		施策、事務事業に追加。

*1 対応CD 1:修正する 2:修正しない

*2 理由CD 1:計画に抱合されている 2:個別要望として受け止める 3:実現困難であり記載できない 4:その他

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
44	鳥海山をはじめとする豊かな自然環境を誇りに思っP Rすれば、もっとまちが元気になる。	観光振興	6	4	2	産業	2	1	
45	「歴史と文化が織りなすまち」をスローガンに関西文化や奥州文化との交流をもっとアピールできないか。	観光振興	6	4	2	産業	2	4	文章には記載しないが、事務事業の中で酒田の歴史を踏まえて施策を展開する。
46	労働力不足がいわれる中で、有効求人倍率を1.0にするまで10年かかるという目標数値は、甚だ疑問である。	雇用対策	6	5	1	産業	1		修正済み。
47	10年計画とはいえ、若者の就職、再就職、企業誘致、地場産業の育成には早急に取り組んでほしい。	雇用対策	6	5	1	産業	2	1	
48	酒田のすばらしい地域資源に市民自らが誇りを持って企業にP Rし、企業立地を進めてほしい。	雇用対策	6	5	1	産業	2	1	
49	若者の就労、意識改革には、行政・学校・地域とが一体となって取り組みが必要だ。	雇用対策	6	5	1	産業	2	1	
50	景観行政は大変重要なテーマであるので、その取り組みを総合計画の中でももう少し明確に表現してほしい。	公園都市構想	5	2	1	建設	2	1	
51	いちごの新品種「おとめ心」が開発され、はじめて東京に出荷されるようになったにも関わらず、農業砂丘試験場が縮小されるのは残念である。これまでの実績を評価し、対応を検討してほしい。	農業振興	6	1	1	産業	1		事務事業に追加。
52	農業産出額は、10年間で20億円の増を見込んでいるようだが、農家が高齢化する中で現実的には無理があるように感じる。	農業振興	6	1	1	産業	1		重点プロジェクトに追加。
53	酒田港を山形県の港として、県内にもっとアピールしてほしい。	港湾整備	7	1	2	産業	1		重点プロジェクトに追加。

*1 対応CD 1:修正する 2:修正しない

*2 理由CD 1:計画に抱合されている 2:個別要望として受け止める 3:実現困難であり記載できない 4:その他

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
54	農林業の振興なしに地域の景気は良くなる。特に併用林道や開拓道路は、管理者がいないため荒れ放題となっている。市で管理できないものか。	林業振興	6	1	2	産業	2	2	
55	地域木材の活用については、森林組合だけでなく、地域業者を交えて進めてほしい。	林業振興	6	1	2	産業	2	2	
56	林道は市の管理であるが、作業道は地域住民の組織体の管理である。地元の組織体で組合を作りながら、継続して作業路を管理しているところもある。市でも情報収集等に協力してほしい。	林業振興	6	1	2	産業	2	2	
57	眺海の森近傍の土地を買収してセカンドハウスを建てる人が出てきた。早急に山林利用の基準を定め、来客者に迷惑がかからないようにしてほしい。	林業振興	6	1	2	産業	2	4	現在の法律では規制できないため、土地所有者による申し合わせ等、一定のルールづくりが必要ではないか。
58	本間美術館から鳥海山が見えるように都市計画を進めてきたはずなのに、デパートが建ち、今またパチンコ店が建設されようとしている。開発主導のまちづくりではなく、歴史ある景観を残したまちづくりが大切だ。	景観形成	5	2	2	産業	2	1	
59	酒田は、子どもたちの子どもらしい生活を可能にする子育てに恵まれた環境にある。子育てに配慮した就労環境を整備し、酒田市で子育てをしながら働けるということをもっとPRしてほしい。	労働環境	6	5	2	産業	2	1	
60	若者に限らず中年の過労死が非常に多い。就労環境の改善に行政が働きかけできないものか。	労働環境	6	5	2	産業	2	1	
61	女性の労働力が非常に貴重である。女性が子育てをしながら働き続けられるように、行政だけでなく、みんなで啓発活動を行いながら、家庭や地域の理解と協力を得るように努めてほしい。	労働環境	6	5	2	産業	2	1	
62	労働組合では、企業に対して就労環境の改善や就労促進の働きかけているが、中小企業など労働組合のないところとは交渉ができないため、行政の支援をお願いしたい。	労働環境	6	5	2	産業	2	1	

*1 対応CD 1:修正する 2:修正しない

*2 理由CD 1:計画に抱合されている 2:個別要望として受け止める 3:実現困難であり記載できない 4:その他

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応	理由	対応状況
							CD *1	CD *2	
63	それぞれの施策を単独で実施するのではなく、休遊農地の活用とUI「J」ターン、食育など複合的に組み合わせて市民が一体となった「共生」の地域興しを進めてみてはどうか。	農業振興	6	1	1	産業	2	2	
64	「合併支援道路の整備促進」とあるが、具体的にどこを想定しているのか提示してほしい。	交通基盤	7	3	1	建設	2	1	
65	酒田駅前整備については、総合計画の中に具体的な記載がないが、着実に事業を具体化してほしい。	都市整備	5	1	3	建設	2	1	
66	東京ミッドタウンを見学して、領域ごとに施設を造るのではなく、キーワードを複合化し、商業・文化・交流の領域が一体となった都市空間を造ることが大切だと感じた。中町サントウンでも、このような垣根を越えた行政運営が求められている。	中心市街地活性化	6	3	1	建設	2	2	
67	都市部の整備が優先され、人口の少ない地域が取り残されるのではないかと心配している。都市部と中山間地とに格差が生じないような計画の推進をお願いしたい。	中山間地振興	3	1	2	建設	2	1	
68	八幡地域には、落石の恐れのある危険箇所が現在も存在している。現場を点検し、早期に整備してほしい。	防災対策	4	1	2	建設	2	2	
69	古い建物で耐震調査ができない場合の対応はどうするのか。	防災対策	4	1	2	建設	2	2	
70	県内の木造住宅の耐震化は、現在68%となっており、10年後には90%とする目標数値が記載されている。目標の達成には、住民負担を軽減しながら具体的施策をしっかりと示す必要がある。	重点プロジェクト	9	9	9	建設	2	2	
71	学校教育の分野では施策が充実しており喜ばしいが、現場の先生方にとっては大きな負担となるのではないかと。地域の方々がもっと学校に入って学校をサポートするような方策を学校教育の分野に付け加えられないか。	学校教育	1	1	0	文教	1		本文に追加。

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD *1	理由CD *2	対応状況
72	第1章のタイトルに「公益の心育む」とあり、酒田らしさが出ていて大変良いと思うが、具体的に内容のどの部分にかかっているのかわかりにくい。施策の方針に「思いやり」といった、公益と連動するような頭出しを行ってほしい。	学校教育	1	1	0	文教	1		本文等に追加。
73	教職員の研修といったものも総合計画に盛り込んでほしい。	学校教育	1	1	0	文教	1		基幹的事務事業に追加。 要検討（2.2）
74	網羅的な計画に終始するのではなく、酒田の教育の売りをもっと意識した計画にしてほしい。高校再編についても、もっと踏み込んだ形で示してほしい。	学校教育	1	1	3	文教	1		具体的な内容を追加。 （総合選択制高校）
75	学区再編があるが、適正規模のことだけでなく、学習条件や学習環境の充実といった質についても盛り込んでほしい。	学校教育	1	1	2	文教	1		文章に追加。
76	図書館の目標数値に、「貸出冊数」だけでなく、「利用者数」も加えた方が良い。	重点プロジェクト	9	9	9	文教	1		目標数値に追加。
77	大学と市の連携によるサービスということで、公益大学の図書館と市立図書館、小中学校図書館の連携を売りとして、総合計画に盛り込んでほしい。	大学まちづくり	1	5	1	文教	1		事務事業に追加。
78	失われつつある伝統文化を見つめ直し、日本人の文化、精神構造を高めていくことがこれからの酒田の教育にとって重要である。伝統的なものの大切さも重点プロジェクトに入れてほしい。	重点プロジェクト	9	9	9	文教	1		プロジェクトに追加。
79	生涯スポーツについては、日常の運動習慣が大切であるため、事業の実施にあたっては市民意見を多く取り入れてほしい。	スポーツ振興	1	3	1	文教	2	2	
80	学校は、子どもたちの勉強の場であるだけでなく、人づくりの場でもあるということを酒田として前面に打ち出してほしい。	学校教育	1	1	0	文教	2	1	

総合計画審議会意見概要シート（第一次原案）

NO	意見内容	分野	章	節	施策	関係部会	対応CD*1	理由CD*2	対応状況
81	個人主義と利己主義を履き違え、責任や社会性を欠いた日本人が増えている中で、公益大学や本間光丘の「公益の心」を取り上げていくことは、酒田の教育の一番の売りになると思う。	教育・文化	1	0	0	文教	2	1	
82	三方所替事件のような酒田の歴史が、総合計画の中にほとんど見当たらない。現在では、歴史を語れる人が少なくなっており、総合計画で、古くから伝わる地域住民の「心」を後生に伝えていくということも検討してほしい。	文化財	1	4	2	文教	2	1	
83	人事評価システムは、人事制度構築の一つの手段に過ぎない。職員の能力向上の部分では、「能力開発機会の充実」を加えてほしい。	行政改革	8	1	1	行財政	1		事務事業に追加。
84	観光拠点の機能強化のところで「第三セクターの組織強化」とあるが、第三セクターは、これまでのような行政依存体質を改めなければならない。行政としても三セクの自立運営に向けた方策を検討してほしい。	行政改革	8	1	1	行財政	2	2	
85	総合計画の中に議員定数について触れられていないのは問題だと思う。議員定数については総合計画で議論を喚起すべき重要な課題だ。じっくり論議されることを市民は望んでいる。	行政改革	8	1	1	行財政	2	2	
86	行財政集中改革プランには、民間移管、指定管理者、第三セクターの見直しが挙げられている。中長期的民間委託の実態は、請け負う側である住民の負担が大きいことについて、行政でも十分に検討してほしい。	行政改革	8	1	1	行財政	2	2	
87	合併時に立てた職員の削減目標は100人となっているが、身内に甘いものであり、やや不満が残る。	行政改革	8	1	1	行財政	2	2	